



平成 25 年 12 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年 4 月30日

上 場 会 社 名 東京都競馬株式会社

上場取引所 東

コ ー ド 番 号 9672

URL <http://www.tokyotokeiba.co.jp/>

代 表 者 （役職名）代表取締役社長

（氏名）山口 一久

問合せ先責任者 （役職名）財務部長

（氏名）江口 真司

（TEL）03 (5767) 9731

四半期報告書提出予定日 平成25年 5 月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成 25 年 12 月期第 1 四半期の連結業績（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第 1 四半期	3,076	0.1	100	—	96	—	69	830.1
24年12月期第 1 四半期	3,072	9.3	△4	—	△2	—	7	—

（注） 包括利益 25年12月期第 1 四半期 242百万円（143.5%） 24年12月期第 1 四半期 99百万円（－%）

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第 1 四半期	0 24	—
24年12月期第 1 四半期	0 03	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第 1 四半期	62,479	51,480	82.4
24年12月期	63,631	51,670	81.2

（参考） 自己資本 25年12月期第 1 四半期 51,480百万円 24年12月期 51,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	1 50	—	1 50	3 00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期（予想）	—	1 50	—	1 50	3 00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 12 月期の連結業績予想（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

（％表示は、通期は対前期、第 2 四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期（累計）	6,862	1.6	427	9.3	431	17.1	256	24.3	0 90
通 期	15,982	△1.0	2,521	△3.0	2,531	△1.8	1,553	△2.1	5 43

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期1Q	287,648,547株	24年12月期	287,648,547株
25年12月期1Q	1,743,672株	24年12月期	1,730,094株
25年12月期1Q	285,913,188株	24年12月期1Q	285,957,275株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページから3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①業績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は30億7千6百万円（前年同期比0.1%増）とほぼ横ばいとなりましたが、修理維持費などの売上原価が減少したことにより営業利益は1億円（前年同期は営業損失4百万円）、経常利益は9千6百万円（前年同期は経常損失2百万円）、四半期純利益は6千9百万円（同830.1%増）となりました。

なお、当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中（夏季）に年間入場者の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価が著しく増加する傾向にあります。

②事業別の概況

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結累計期間より、セグメント区分を変更しております。変更の内容につきましては、「3. 四半期連結財務諸表（4）セグメント情報等」に記載のとおりであります。各セグメントの売上高、利益（又は損失）の前年同期比較は、新たなセグメントに組み替えた金額に基づき記載しております。

<売上高の内訳>

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減比
公営競技事業	1,720	1,663	△56	△3.3%
遊園地事業	110	113	2	2.7%
倉庫賃貸事業	898	892	△5	△0.7%
サービス事業	342	406	64	18.8%
合計	3,072	3,076	4	0.1%

(注) 上記売上高は外部顧客への売上高であります。

<セグメント利益の内訳>

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減比
公営競技事業	△24	△37	△13	—
遊園地事業	△444	△347	97	—
倉庫賃貸事業	620	606	△13	△2.2%
サービス事業	46	103	56	120.5%
調整額	△202	△225	△22	—
合計	△4	100	104	—

(注) 報告セグメントの利益又は損失（△）は、営業利益ベースの数値であります。

〔公営競技事業〕

大井競馬は21日開催され、前年同期と比べ開催日数は1日増加いたしました。また浦和競馬、船橋競馬、川崎競馬の大井場外発売は計42日実施され、前年同期と比べ実施日数は2日減少いたしました。その他各地方競馬の広域大井場外発売につきましても、177レース実施されました。この間、1号スタンド「L-WING」において映像モニター及び指定席液晶モニターの改修工事を行うなど、快適な投票環境の整備に努めました。

伊勢崎オートレースは13日開催され、前年同期と比べ開催日数は7日減少いたしました。また川口オートレース他4場の伊勢崎場外発売は延べ72日実施され、前年同期と比べ実施日数は4日減少いたしました。この間、オートレース場で日本初となる大井競馬専用場外勝馬投票券発売所「オフト伊勢崎」の開設に向けた整備を進めました。

以上の結果、公営競技事業の売上高は16億6千3百万円（前年同期比3.3%減）となり、セグメント損失は3千7百万円（前年同期はセグメント損失2千4百万円）となりました。

〔遊園地事業〕

東京サマーランドは、園内整備のため1月1日から2月28日まで休園いたしました。3月1日にはファミリー向けの新アトラクション「FunCopter（ファンコプター）」を屋外遊園地エリアに導入し、施設の整備拡充に努めました。

以上の結果、東京サマーランドの入場人員は6万人で、遊園地事業の売上高は1億1千3百万円（前年同期比2.7%増）となり、セグメント損失は3億4千7百万円（前年同期はセグメント損失4億4千4百万円）となりました。

〔倉庫賃貸事業〕

倉庫賃貸事業におきましては、平和島地区倉庫における賃料改定等の影響により、売上高は8億9千2百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は6億6百万円（同2.2%減）となりました。

〔サービス事業〕

サービス事業におきましては、昨年5月に取得した賃貸オフィスビル「ウィラ大森ビル」の通期稼働により賃貸料収入が増加したことから、売上高は4億6百万円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益は1億3百万円（同120.5%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億5千1百万円減少し、624億7千9百万円となりました。これは、現金及び預金が1億7千2百万円、投資有価証券が2億6千2百万円それぞれ増加したのに対し、営業未収入金が6億1千3百万円、有価証券が5億8百万円、有形固定資産が2億3千5百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ9億6千1百万円減少し、109億9千8百万円となりました。これは、未払法人税等が6億1千6百万円の減少、長期借入金の返済額2億5千万円の支払いなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億8千9百万円減少し、514億8千万円となりました。これは、上場株式等の時価変動によりその他有価証券評価差額金が1億7千3百万円増加したのに対し、期末配当の実施等により利益剰余金が3億5千9百万円減少したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の81.2%から82.4%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期の業績がおおむね計画通り推移しており、平成25年2月15日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,026,844	6,199,286
営業未収入金	1,332,231	718,812
有価証券	3,516,613	3,007,820
たな卸資産	58,820	70,104
繰延税金資産	77,331	151,266
その他	232,992	219,965
貸倒引当金	△4,915	△7,523
流動資産合計	11,239,917	10,359,732
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	21,107,420	20,897,592
建物附属設備（純額）	5,284,072	5,105,151
構築物（純額）	6,811,946	6,776,981
機械装置及び運搬具（純額）	1,302,529	1,218,201
土地	10,262,038	10,332,038
信託建物（純額）	1,846,639	1,831,703
信託建物附属設備（純額）	189,069	185,520
信託土地	2,174,126	2,174,126
その他（純額）	331,152	551,897
有形固定資産合計	49,308,996	49,073,213
無形固定資産		
ソフトウェア	391,021	337,971
施設利用権	33,302	31,819
その他	11,927	11,927
無形固定資産合計	436,251	381,717
投資その他の資産		
投資有価証券	1,208,749	1,471,325
長期前払費用	20,854	35,438
繰延税金資産	669,468	531,462
長期立替金	646,727	527,023
その他	100,105	99,779
投資その他の資産合計	2,645,905	2,665,030
固定資産合計	52,391,152	52,119,961
資産合計	63,631,070	62,479,693

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	346,338	289,237
1年内返済予定の長期借入金	825,000	675,000
未払金	409,582	485,336
未払法人税等	693,916	77,599
未払消費税等	119,909	78,778
賞与引当金	41,924	121,419
その他	398,616	427,715
流動負債合計	2,835,287	2,155,086
固定負債		
社債	5,000,000	5,000,000
長期借入金	100,000	—
長期預り金	1,909,339	1,895,535
退職給付引当金	1,457,766	1,298,616
役員退職慰労引当金	213,548	203,289
資産除去債務	426,608	428,491
その他	17,934	17,934
固定負債合計	9,125,196	8,843,867
負債合計	11,960,483	10,998,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,857,668	6,857,668
利益剰余金	34,391,387	34,031,967
自己株式	△335,226	△339,064
株主資本合計	51,500,127	51,136,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,459	343,871
その他の包括利益累計額合計	170,459	343,871
純資産合計	51,670,586	51,480,739
負債純資産合計	63,631,070	62,479,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	3,072,192	3,076,686
売上原価	2,738,367	2,637,182
売上総利益	333,825	439,504
一般管理費	338,495	339,222
営業利益又は営業損失(△)	△4,670	100,281
営業外収益		
受取利息	652	2,084
線下補償料	4,039	4,037
除斥配当金受入益	3,223	—
エコポイント収入	2,921	—
その他	3,322	2,555
営業外収益合計	14,158	8,677
営業外費用		
支払利息	10,074	12,074
その他	1,752	305
営業外費用合計	11,827	12,380
経常利益又は経常損失(△)	△2,338	96,579
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,338	96,579
法人税、住民税及び事業税	61,245	54,225
法人税等調整額	△71,051	△27,103
法人税等合計	△9,806	27,121
少数株主損益調整前四半期純利益	7,467	69,457
四半期純利益	7,467	69,457

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,467	69,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,289	173,411
その他の包括利益合計	92,289	173,411
四半期包括利益	99,757	242,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,757	242,869
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	計		
売 上 高							
外部顧客への売上高	1,720,736	110,893	898,232	342,330	3,072,192	—	3,072,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	562	—	—	—	562	△562	—
計	1,721,298	110,893	898,232	342,330	3,072,755	△562	3,072,192
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△24,709	△444,821	620,515	46,866	197,851	△202,521	△4,670

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△202,521千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	計		
売 上 高							
外部顧客への売上高	1,663,753	113,852	892,270	406,809	3,076,686	—	3,076,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	509	—	—	10,067	10,577	△10,577	—
計	1,664,263	113,852	892,270	416,877	3,087,263	△10,577	3,076,686
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△37,898	△347,013	606,887	103,342	325,318	△225,036	100,281

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△225,036千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社の中期経営計画（平成25年12月期～平成29年12月期）の事業戦略に沿って、公営競技における経営資源を共用し、事業の拡大に対応するとともに、類似事業の合理化を図っていくため、従来の報告セグメントである「競馬施設事業」と「オートレース施設事業」の区分を統合して、「公営競技事業」セグメントに区分しております。

また、この変更に合わせて「オートレース施設事業」に含めておりました伊勢崎スイミング事業は「遊園地事業」に区分変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。